

同志社大学大学院脳科学研究科開設記念講演会のご案内 2012年度開設予定

同志社大学は、来年4月、5年一貫制博士課程の「脳科学研究科発達加齢脳専攻」を開設します。本研究科専攻は、分子細胞・システム・病態の3分野にわたる8部門を配置した、独立研究科として教育研究活動を展開します。

現在、来年4月開設に向けて準備を進めており、その一環としてパッチクランプ法の開発により1991年にノーベル医学生理学賞を受賞されたアーウィン・ネーハー教授と、青少年の国際科学教育拠点 X-lab の設立者エバマリア・ネーハー教授夫妻に、それぞれ「脳内シグナルのしくみ」と「自然科学教育の展開」について、お話していただくことになりました。英語による講演ですが、大学院進学を控える方はもちろん、文理系を超えて、学生、教員、更には、一般の方々にも広く関心を持っていただける内容となっておりますので、奮ってご参加ください。

日時：2011年9月12日（月）14:00～16:00

場所：京田辺キャンパス 恵道館大ホール（KD201）

演題：

“New Horizons in Science Education”

Prof. Dr. Eva-Maria Neher

Executive and Managing Director

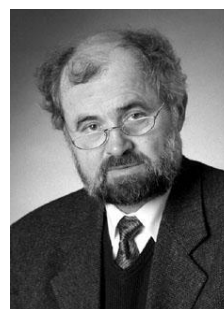
XLAB- Göttingen Experimental Laboratory for Young People



“Signals and Signaling Mechanisms in the Central Nervous System.”

Prof. Dr. Erwin Neher

Director of Biophysics, Max Planck Institute of Göttingen



司会：高橋智幸 同志社大学生命医科学部・生命医科学研究科教授

入場料：無料（事前申込不要）

主催：脳科学研究科設置準備室

問い合わせ先

同志社大学 脳科学研究科 設置準備室 設置業務課

E-mail: jt-nkgim@mail.doshisha.ac.jp Tel: 0774-65-8201